

令和5年度 第3回 大瀬小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月18日（水）13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 大瀬小学校 会議室
- 3 出席委員 渡部 清、小杉 和央、稲鶴 治夫、川島 博美、黒川 定武、
千葉 ひと美（学校支援コーディネーター）
- 4 欠席委員 兵子 大介
- 5 学 校 伊藤 公美子（校長）、谷野 正典（教頭）、米山 香奈（教務主任）、
天野 薫（1学年主任）、岡田 彩恵子（2学年主任）、
田畑 里紗（CSディレクター）
- 6 教育委員会 清水 悠（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 田畑 里紗
- 9 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、各委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
ビジョンの共有について（ワークショップ型話し合い）
 - ① 「地域として、どのような子供を育てていきたいのか」
 - ② 「何をどのように実現していくのか」
- 11 会議記録
司会の教頭から、委員総数7人のうち6人の出席があり過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
協議に先立って、渡部委員より交通ボランティアの今後についての報告、教頭より児童の様子
の報告、千葉コーディネーターより支援活動の報告、5年生稲刈り体験の見学、前回会議録
の確認、及び教頭より学校支援コーディネーターズマニュアルについての説明があった。

【渡部委員より交通ボランティアの今後についての報告】

交通ボランティアは地域が果たす役割が大きいと思います。来月上旬に臨時の連絡会を予定しています。募集と管理などの運営方法の確立を今期中に達成できればと考えています。

【千葉コーディネーターより支援活動の報告】

生け花ボランティアの募集では、近藤さん、山本さん、伊藤さんの3名の方に手を挙げていただき8月より活動していただいています。グラウンド整備活動では、ボランティアの石脇さんが2時間かけて耕耘機をかけ耕してくださり、父親サッカー、少年団団員関係者の方々が草を拾う作業をしてくださいました。家庭科の授業においても、ボランティアの杉本さん、斉藤さんにお手伝いいただきました。地域とともにある学校づくりが少しずつ動き始めています。ただ課題も出てきました。カレンダーで予め決まっている作業については募集や依頼がしやすいですが、授業内で必要とする活動は急な依頼となるため人が集まりにくいです。急すぎて都合が合わせられないと言う方もいらっしゃいました。ボランティア登録者の方に気持ちよく活動していただけるように配慮ある募集を考えていきたいと思っています。

【教頭よりCSコーディネーターズマニュアルについての説明】

今までのコミュニティ・スクールに関する活動、地域の人材活用について記録されています。職員は、学年ごとの情報を積み重ねていきます。このマニュアルに載っている活動は、学校が持続してやっていきたいと思っている活動です。

【図1：CSコーディネーターズマニュアル】

ビジョンの共有について（ワークショップ型話し合い）

①「地域として、どのような子供を育てていきたいのか」

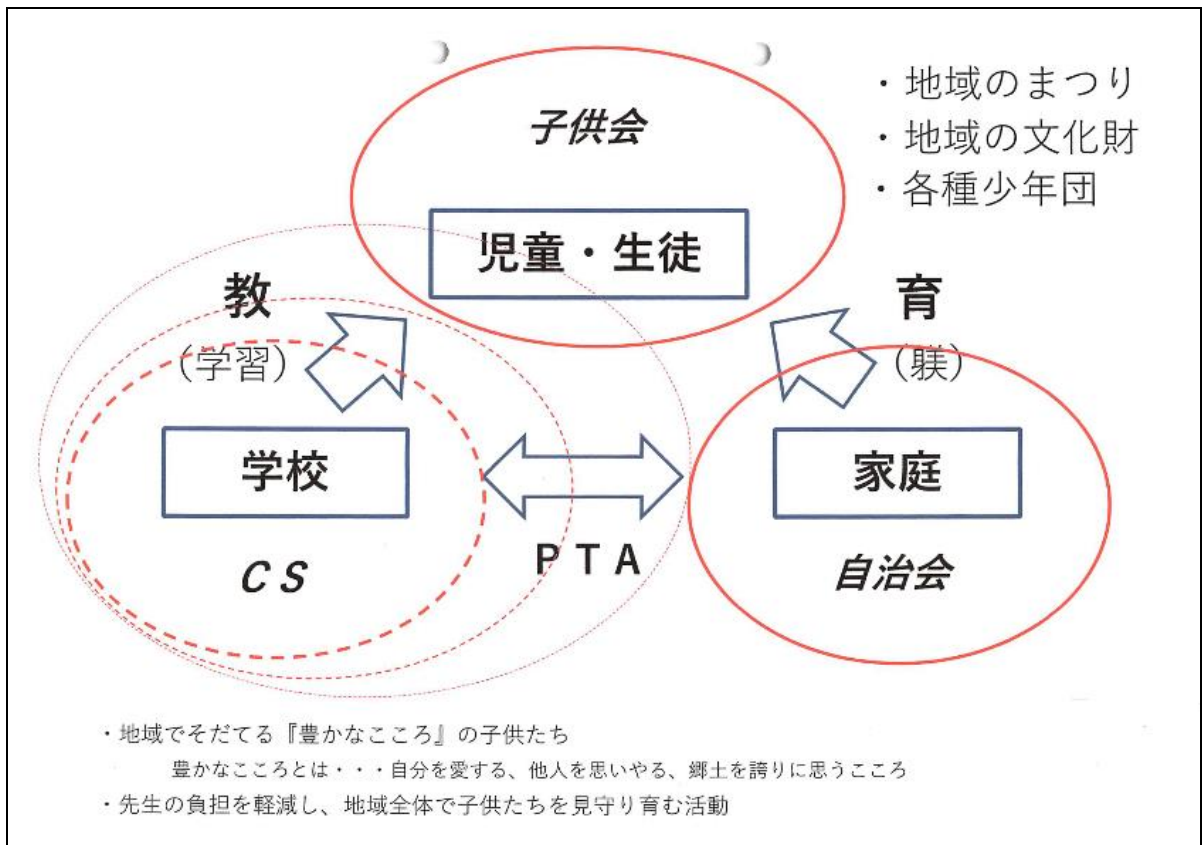
子供たちに対する思いを出し合い、話し合いを行った。



【図2：ワークショップで出てきた意見】

【感想・意見】

- ・ 学校だけで話し合っていると“地域”という言葉はなかなか出てきません。コミュニティ・スクールだからこそ聞ける言葉だなと実感しました。（校長）
- ・ バランス良く立派な子供に成長してほしいなと思います。（稲鶴委員）
- ・ 持続可能で今後も継続してできるようなコンセプトにしていくのが大事。（教頭）
- ・ 突き詰めていくと教育目標の“お・お・せ”の合い言葉に行き着くなと思いました。その目標に地域も乗っかって一緒になって考えていく活動にしたいなと思います。（黒川委員）
- ・ 学校・児童・家庭・地域の関係を図にまとめてみたが、地域だけがなかなかその関係の輪の中に入れない。今後は地域もその関わりの中にどんどん入って行って、良い環境、良い関係を作っていくのがコミュニティ・スクールの仕事かなと思います。（黒川委員）



【図3: 黒川委員提示図】

- ・ 少人数の学校ならではの異年齢活動は“やさしい子”“思いやりのある子”に繋がっていると思うので今後も続けてほしいなと思いました。意見を言わなくて黙り込んでしまう子、自分の意見を強く主張して人の意見を聞かない子がいるなと感じています。今後も話し合いの活動を続け人の意見を聞けるようになれば良い子に育つのではないかと思います。（小杉委員）
- ・ 地域のレクリエーション大会には多くの参加希望者が集まり、そして神社のお祭りには多くの子供たちが参加してくれました。地域としてとても盛り上がりました。自治会としてできるだけ子供たちをサポートしていきたいし、関わりを深めていきたいなと思いました。（稲鶴委員）
- ・ “学校とP T A”は別の領域という感覚があり、そこに対して今まで関心が浅かったなと思いました。自治会ももっと学校との関わりを深めていかないといけないなと実感しています。交通ボランティアに関しては地域が先頭に立ってやっていかないといけないことだなと感じています。（渡部委員）
- ・ “挨拶”“感謝”という言葉が最初に思い浮かびました。気持ちを表現すること、相手に伝えることが大事だと思います。その場面にあった言葉が自然に出てくるべきだと思います。旗振りをしていても挨拶をしてくれない子が本当に多いです。交通ボランティアは当たり前ではないと思います。挨拶がきちんとできないのは良くないと思います。この先、学校・子供・より多くの地域の方々が支え合える関係でいられるためにも、まずは挨拶が身につけて自然に出てくるようになればいいなと思います。（千葉委員）
- ・ 下校時に車を止めて子供の道路の横断を待っていた私に、感謝の気持ちを伝えてくれた低学年の男の子がいました。こんな子が大瀬小にもいるのかと思いました。こういう素直な子が

このまま素直に育つような学校との関係を、地域が作らないといけないなと思いました。心が温まる素晴らしい瞬間でした。（黒川委員）

- ・挨拶は一回言えるようになれば、その後はすんなりできるのではないかと思います。（教頭）
- ・地域の方と顔見知りになったり、近い存在になったりするなど、相手を大事に思う関係になれば、本当の心からの気持ちのいい挨拶が交わせるのではないかと思います。また、その関係性が今後へと繋がっていくといいなと思います。（校長）
- ・実のある熟議ができて良かったです。（渡部委員）

②「何をどのように実現していくのか」

本議題は次回協議会へ持ち越された。

【学校より】

今年度のランドデザインをもとに活動を実行中です。読書活動では土日週末読書や、こども新聞を取り入れました。運動会では大瀬独特のなわとびを体操に取り入れています。学習面ではICTを取り入れて一人一人に合ったサポートをしています。来年度に向けてアイデアをいただけたらと思います。

その他連絡事項

- ・教頭より、次回学校運営協議会の開催日程、及び協議内容について説明があった。
- ・教頭より、今後の学校行事の紹介、及び参観依頼があった。